



# れんかく



## 松江赤十字病院 整形外科の紹介



整形外科部長  
**岩佐 潤二**

松江赤十字病院整形外科へ本年4月から赴任いたしました。6か月が過ぎ、中山部長の後任として10月1日から部長という重責を任せられることとなりました。何卒よろしくお願い申し上げます。以下に簡単ではございますが自己紹介と今後の抱負につきまして述べさせて頂きます。

昨年度は国立病院機構浜田医療センター整形外科部長として島根県西部地区の診療を行い、それ以前は島根大学医学部附属病院整形外科講師として臨床および研究に携わってきました。特に膝・スポーツ傷害のメカニズムや、傷害の予防法につきましてはヨーロッパでの研究プロジェクトにも参加し、多くの研究を行ってきました。臨床においては主に膝関節や足関節のスポーツ外傷・障害に対して、内視鏡を用いた関節鏡視下手術が正確かつ安全に行える手術器具と手術方法を開発し、侵襲ができるだけ小さく、社会・スポーツ復帰が早期にできるよう、手術成績の向上をめざしてきました。

松江赤十字病院整形外科は急性期病院という特徴から、救急外傷の非常に多いところですが、そ

れに加えて脊椎疾患、人工関節を要する慢性疾患など患者層は幅広く、歴史のある島根県東部地区の重要な基幹病院であることは搖るぎなく、改めて責任の重さを感じております。

中山部長そして秦院長から多岐にわたるご指導を賜りながら6か月が過ぎましたが、今後も松江赤十字病院整形外科の伝統を守り、更なる発展を目指して日々精進していきたいと考えております。現在の日本整形外科学会における大きなトピックスの一つとして、できる限り内視鏡を用いた最小侵襲手術を行い、早期のリハビリテーションを取り入れ、社会への早期復帰を目指すことがあげられます。当科でも整形外科医療の進歩に遅れないよう、今までの経験を生かして現在取り組んでおります。また、臨床のみならず、整形外科医の教育・指導・研究発表の面につきましても同様に力を入れていきたいと考えております。

現在、病院勤務医不足という地域医療を取り巻く環境は厳しく、当科も5人体制ならびに秦院長先生のご協力で診療が成り立っているのが現状です。Paramedicalの方々や他科の先生方とのチームワークはもちろんのこと、島根県東部地区の医療機関の皆様とのよりいっそうの連携、よい関係づくりに努めたいと考えております。何卒ご協力ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

### 放射線検査予約に関するお願い

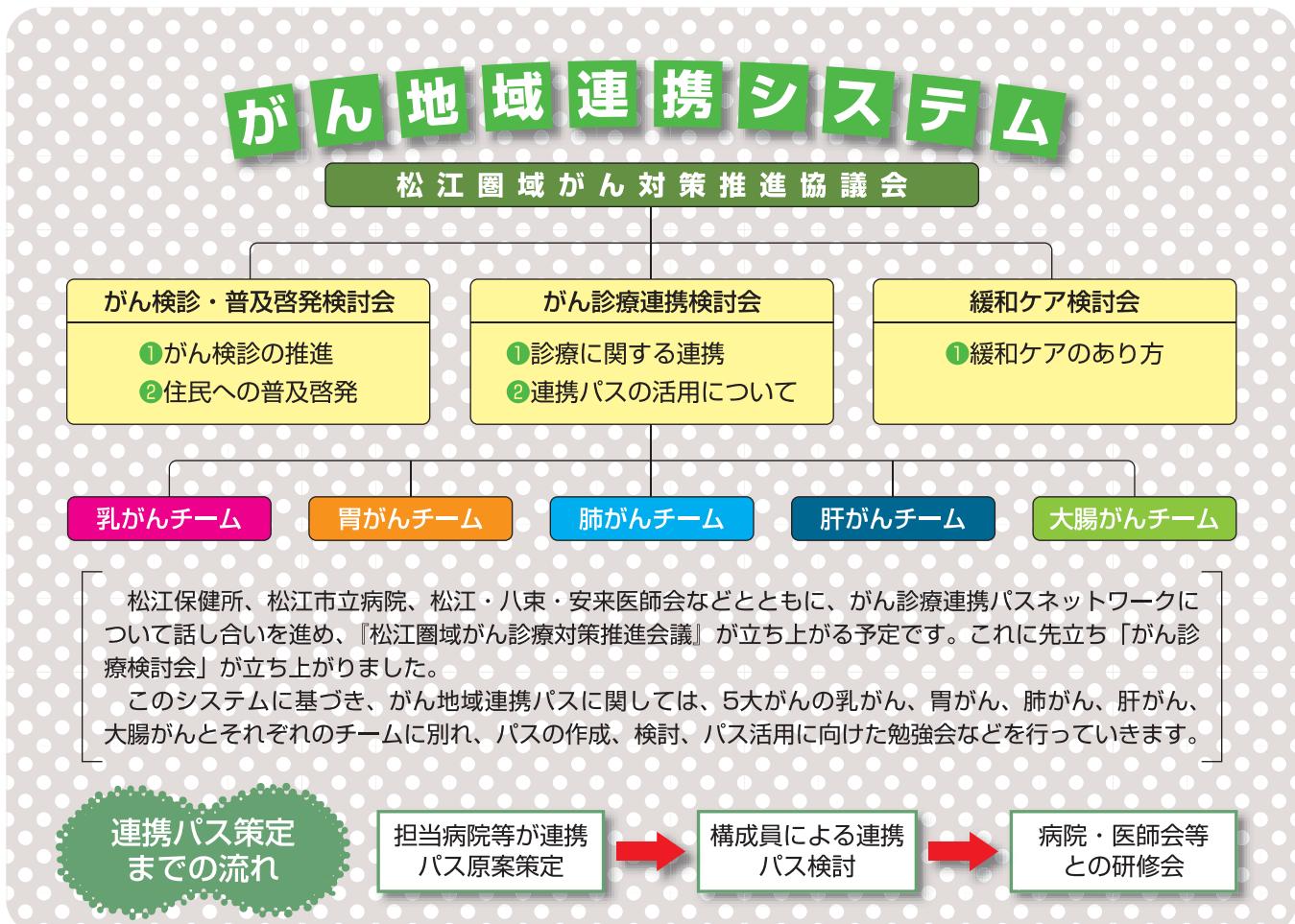


\* 放射線予約検査(CT・MRI・PET/CT・RI・骨密度)につきましては、今までの電話での予約から、FAXでの予約に変わりました。

事前に「検査依頼・診療情報提供書」および必要書類をFAXでお送りください。

**FAX.0852-32-7500**

詳細は『松江赤十字病院ホームページ 放射線科予約検査(医療関係者用)』をご覧ください。



## 第575回 集談会より

平成22年10月19日(火)の集談会では、特別講演として「急務！多剤耐性菌アウトブレイクに対する危機管理対策」というテーマで、福岡大学医学部救命救急医学講座教授 石倉宏恭先生にきていただき、お話を聞きました。  
内容は、院内感染の怖さ、アシнетバクターとは何か、感染時の対応の実際、そして、アウトブレイク終息のための対策などでした。徹底した接触感染予防、環境の清掃・消毒、積極的症例検索と追跡、コホーティング、新規入院の制限・病棟閉鎖・手術中止、職員教育などが対策として必要だそうです。『1処置1手洗い』という基本は、やはり重要だというお話でした。

## 新任医師紹介



産婦人科  
9/8～

池野屋 美智子

9月から主に人間ドックの子宮がん検診を担当させていただいております。微力ながら地域医療に貢献できますよう頑張ります。御指導御鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



小児科  
10/1～

平出 智裕

初期研修で2年間お世話になった松江赤十字病院で、再び10月から小児科としてお世話になります。多くの子供達の笑顔が見れるように頑張りますので宜しくお願ひ致します。



整形外科  
10/1～

真子 卓也

10月から松江赤十字病院に赴任してきました。微力ではございますが、地域連携においてお役に立てるよう頑張りたいと思いまますので、何卒よろしくお願ひいたします。

## 地域医療従事者スキルアップセミナー

松江赤十字  
病院のブログに  
ものせてます。



当院は地域医療支援病院として地域の医療従事者の方々を対象にさまざまな研修会を開催しています。

その一環として、9月の終わりに「地域医療従事者スキルアップセミナー」をくにびきメッセ（島根県立産業交流会館）で開催しました。今回のテーマは「聴けばわかる褥瘡のすべて!!」演者は医師、看護師、理学療法士といった、当院が誇る褥瘡チーム。会場のくにびきメッセ多目的ホールはほぼ満員、約130名の来場者で、主催者一同ホッと胸をなでおろしました。



## 院内感染対策研修会より

平成22年10月8日(金) 国立感染症研究所 客員研究員 河内正治先生に来ていただき、「新型インフルエンザ対策について」お話をいただきました。

日本はじめ東南アジアなどのさまざまな重症例を提示しながら、通常の呼吸器感染症とインフルエンザの違いなどを教えていただきました。

## 診療科変更



麻酔科  
10/1～

森 英明



小児科  
11/1～

和田 啓介



リハビリテーション科 → 神経内科  
10/1～

田村 邦彦

10月から採用となった、麻酔科の森と申します。麻酔科医としても、一人の医者としてもまだ未熟な点がありますが、みなさんの期待に応えられるよう頑張ります。

11月から小児科採用となりました。和田啓介です。赤ちゃんや子供達みんなが健やかに育つていけるように頑張りますので、よろしくお願ひいたします。



松江赤十字病院のオリジナルレマスコットキャラクター『ピボン』です。よろしくお願ひします。

## ピンクリボン運動in水燈路

H22 10/11 松江城馬だまりにて

患者さんの思いを書いても  
らったピンクの燈路の中で、「この  
は」のライブとその合間で約40名の  
方に自己検診の方法をお伝えするこ  
とができました。

## ピンクリボン講演会2010

H22 10/23

(財)環境保健公社と松江赤十字病院が主催しました。20代～70代以上まで幅広い年齢層で合計175名の参加がありました。名古屋医療センターの遠藤登紀子先生から、『これだけは知っておきたい乳がんのこと～乳がんをおそれない・あなたらない～』というテーマで講演がありました。世界から見て日本の乳がんの検診率は低く、14%台、その中でも島根県はさらに低い7%台であるというお話でした。その後、参加者の質問を受ける形でのパネルディスカッションがあり、遠藤先生のほか、島根県健康福祉部の牧野先生、島根大学の内田先生、当院の村田先生、林乳がん認定看護師がパネラーで行われました。参加者からも大変わかりやすく、理解できたという意見が多く見られました。この講演とパネルディスカッションなどから、参加者の検診の重要性への意識は高まったようです。検診も継続して受けることの重要性もわかったという意見も聞かれました。

**アンケート結果より**  
104名(回収率59.4%)

乳がん検診を受けたことがあるか	割合
①定期的に受けている	30%
②時々受けている	12%
③一度受けた	19%
④全く受けたことがない	28%
無記入	11%

乳がん検診を受けようと思うか	割合
①思う	81%
②思わない	4%
③わからない	3%
無記入	12%

思わないと答えた人のうち2人は男性でした。

# 研修会等のご案内

## 外来糖尿病教室

12/8 水

10:00～14:00 中央新報ビル

「定番おせち料理がヘルシーに変身！」

● “えっ？こんなに食べてもいいの？”

管理栄養士（糖尿病療養指導士） 安原みずほ

## 健康医学講座

12/13 月

14:00～15:30 松江赤十字病院 厚生棟会議室

「心臓病教室2010」

循環器内科医師 三村 麻郎

平成23年  
1/26 水

14:00～15:30 松江赤十字病院 厚生棟会議室

「緩和ケアについて～自分らしく、豊かに生活を送るために～」

精神神経科部長 室津 和男

## 松江赤十字病院「緩和ケア基礎コース研修」

12/15 水

17:15～18:45 多目的室

研修のまとめ

● 実践に活かせるよう、研修のねらいにそって  
学びを整理する

緩和ケア部会研修担当者

松江赤十字病院 地域医療連携課

〒690-8506 松江市母衣町200番地  
TEL 0852-32-7813 FAX 0852-27-9261

